神戸市室内合奏団 定期演奏会
KOBE CITY CHAMBER ORCHESTRA

古典派と歩む一年 ～アンサンブルの極みを目指して～

ふたりの天才と若き日の作品
～シューベルトが受け継いだ“明るく、照らされた、美しい”もの～

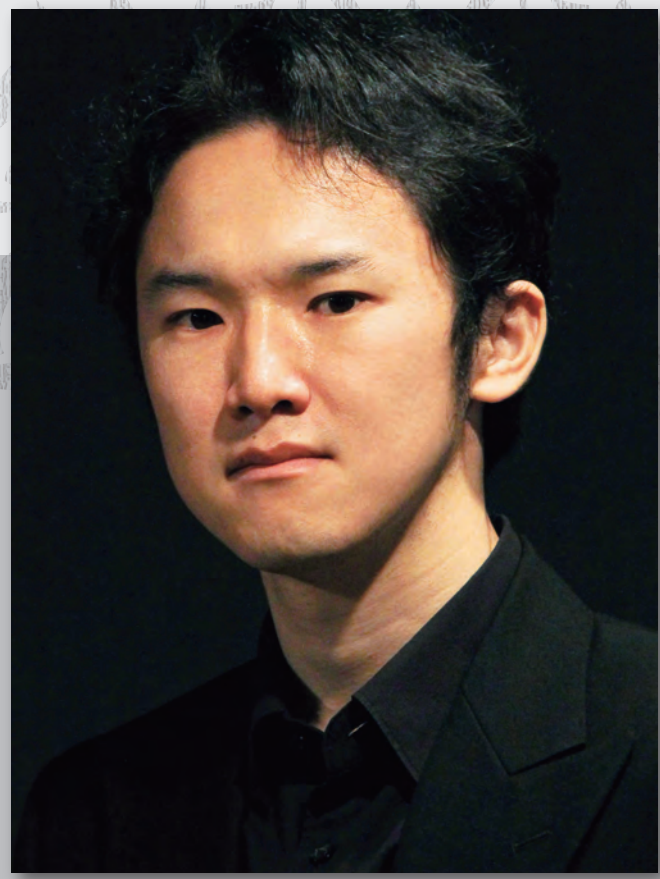
W.A.モーツァルト
W.A. Mozart

交響曲 第29番 イ長調 KV 201(186a)
Sinfonie in A KV201 (186a)

フルート協奏曲 第2番 ニ長調 KV 314(285d)
Konzert in D für Flöte und Orchester KV314 (285a)

F.シューベルト
F. Schubert

交響曲 第5番 変ロ長調 D 485
Sinfonie Nr.5 in B D485



期待の新星 石川 星太郎 指揮

藤井 香織 フルート

神戸市室内合奏団

神戸公演 2013年3月7日(木) 18:30開演
神戸文化ホール 中ホール

■入場券販売場所
- ＊神戸文化ホール プレイガイド……078(351)3349
- ●ローソンチケット……0570(084)005 Lコード:57255
- ●アルチザン・ハウス……078(332)1579

東京公演 2013年3月10日(日) 14:00開演
紀尾井ホール

■入場券販売場所
- ＊カジモト・イープラス……0570(06)9960 http://kajimotoeplus.com/
- ●チケットぴあ……0570(02)9999 Pコード:189-491
- ＊e+(イープラス)……http://eplus.jp/
- ＊紀尾井ホール・チケットセンター……03(3237)0061

一般／前売 2,700円 (当日 3,000円)　学生(大学生以下)／前売・当日共 1,000円

※学生前売券は＊印発売所のみの取り扱いになります。購入時に学生証をご呈示下さい。
※就学前のお子様はご遠慮下さい。
※やむを得ず、出演者、プログラムが変更となる場合があります。
※「神戸音楽友の会」会員の方は、無料でご鑑賞いただけます。

文化庁芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)

主催／(財)神戸市演奏協会・神戸市・(公財)神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール　東京公演マネジメント／KAJIMOTO
お問い合わせ／(財)神戸市演奏協会 ☎078(361)7241 http://www.kobe-ensou.jp/

「技術的な才能や優れた音楽性、更にこの若さで既に人格や個性をも具えた将来が楽しみな若手指揮者、石川星太郎」（ゲルハルト・ボッセ　生前のメッセージより）

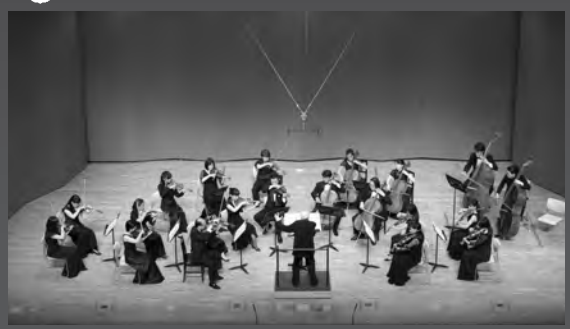
Profile

指　揮　石川　星太郎 Seitarou Ishikawa

1985年東京生まれ。ドイツ・フライブルク国際ピアノアカデミーに2年にわたり参加。東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。同時にアカンサス音楽賞受賞。藝大在学中より室内アンサンブル集団「アンサンブルシュテルン」を主宰し、2006年1月には津田ホールにてフォーレ「レクイエム」の原典版を、2007年4月には杉並公会堂にて細川俊夫作品の日本初演を指揮。また2006年9月には武生国際音楽祭にてジャパンユースフィルハーモニック（現・ジャパンアカデミーフィルハーモニック）を指揮し、ヴィオラの今井信子などと共演する（当公演を含む武生国際音楽祭2006はサントリー音楽財団より佐治敬三賞を受賞）。以降、武生国際音楽祭のレギュラーメンバーとなり、指揮者、ピアニストとして出演している。またソプラノの平松英子など歌手の伴奏ピアニストとしての評価も高い。ジャパンアカデミーフィルハーモニック常任指揮者。今は亡き巨匠ゲルハルト・ボッセのアシスタントとしての任も担った。現在ロームミュージックファンデーション奨学生としてロベルト・シューマン大学デュッセルドルフ・指揮科に留学中。これまでに、ピアノを林達也、ユーラ・マルグリスに、指揮を田中良和、ハンス=マルティン・シュナイト、ゲルハルト・ボッセ、リューディガー・ボーンに師事。デュッセルドルフ在住。

フルート　藤井　香織 Kaori Fujii

藤井香織は、安定した技巧と深い音楽性を兼ね備え、クラシックからコンテンポラリーまであらゆるジャンルで高い評価を受けている。
東京藝術大学卒業後、2001年10月から安田文化財団、その後、2003年9月からロームミュージックファンデーションの助成を受け、シュトゥットガルト国立音楽大学ソリスト・クラスに留学、最優秀で卒業。国内においては96年「第7回日本木管コンクール」、97年「第14回日本管打楽器コンクール」、98年「第67回日本音楽コンクール」のすべてにおいて画期的な史上最年少第1位を獲得、海外においても、98年「第44回マリア・カナルス国際コンクール」で史上最年少第2位入賞,併せて特別賞を受賞。さらに朝日新聞社賞、E・ナカミチ賞を受賞するなど受賞歴は枚挙にいとまがない。これまでに国内主要オーケストラや、エンリコ・モリコーネ、ヘリベルト・バイセル、アルブレヒト・マイヤー、スタニスラフ・ブーニン、フィリップ・モルをはじめとする国際的アーティストと共演、各地の国際音楽祭へのゲスト出演など活発な活動を展開している。2006年3月にはワシントンD.C.のケネディーセンターでコンサート。総スタンディングオベーションで華やかにアメリカデビューを果たす。CDも多数録音しており、フルートとギターを中心としたラテン・アルバム「イパネマの娘」は「米国グラミー賞7部門、ラテングラミー賞にプリノミネートされた。最近では、（2011年12月）ZDF（ドイツ国営テレビ）によるクリスマス・ガラ・コンサートにオーケストラのソリストとして出演、ドイツのヴルフ大統領も出席されその模様はドイツ全土に放送された。今後も、ドイツにて新しいCDの制作が予定されており、意欲的に活動を行っている。ニューヨーク在住。http://www.kaorifujii.com/

神戸市室内合奏団 Kobe City Chamber Orchestra

2011年に30周年を迎えた神戸市室内合奏団は、1981年に神戸市によって設立されて以来、神戸を中心に大阪・東京などで演奏活動を繰り広げてきた。設立当時から高い演奏能力を備えていたが、1998年にゲルハルト・ボッセを首席指揮者に迎え、更に2000年にボッセが音楽監督に就任してからは、技術的並びに芸術的水準において飛躍的な発展を遂げた。また毎年のシーズン・プログラムにおいても、ボッセのアイデアによる充実した内容の魅力あふれる選曲で、各方面からの注目を集めている。ハイドン・イヤー（2009年）までの２年間、合奏団とボッセは18世紀の作曲家の作品に精力的に取り組み、定期演奏会のシリーズにおいて、ハイドンの占める音楽史上の重要な位置とその偉大さを鮮やかに描き出すことに成功した。
内外の実力あるソリストたちとの共演も多く、2011年３月の定期演奏会でのJ.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲全６曲」における名演は記憶に新しいところである。この年の６月定期「メンデルスゾーンの功績」より、第３交響曲「スコットランド」他のライヴ録音がコウベレックスよりＬＰの限定版として、また前述の「ブランデンブルク協奏曲」がアルトゥスよりCDでリリースされている。

［会場付近地図］

神戸公演

東京公演